

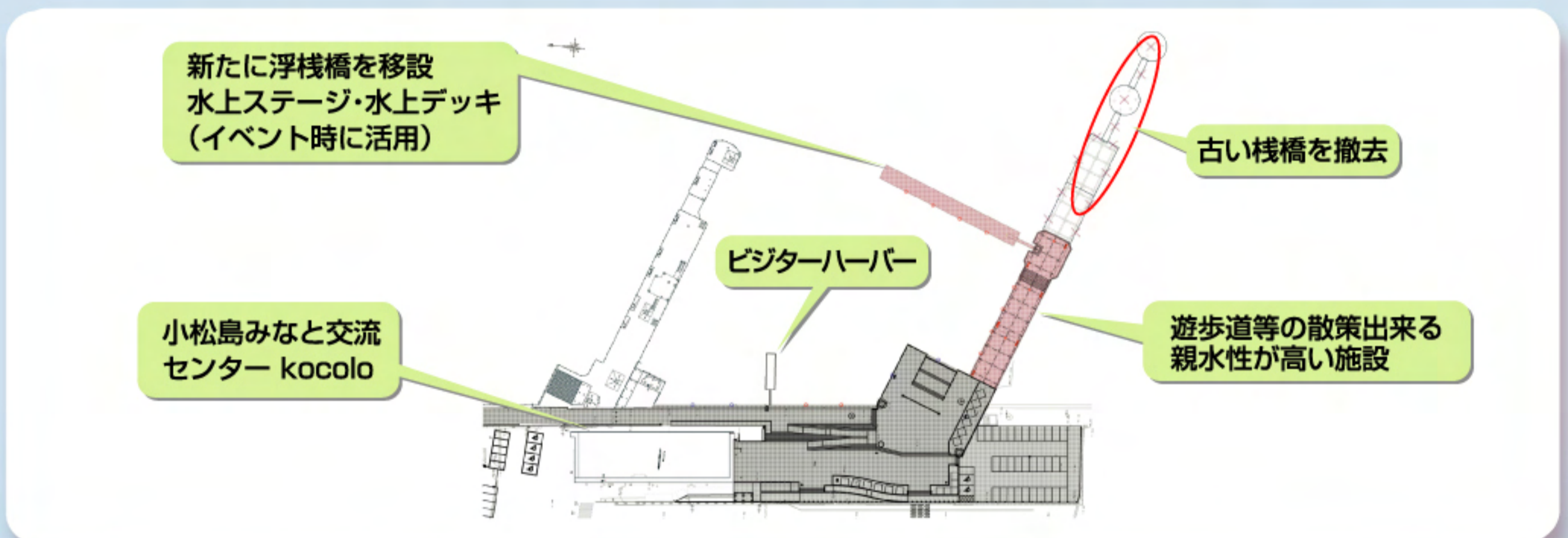
徳島小松島港 本港地区

【港湾環境整備事業】

徳島小松島港では本港地区のさらなる活性化を目指し、平成17年より緑地整備が進められています。海沿いにウッドデッキが張り巡らされた交流広場は、平成20年11月に完成し各種イベントに利用されています。しおかぜ公園と交流広場の間にある旧駐車場エリアは、平成22年3月に両公園を繋ぐ空間として整備が終了し、神田瀬川の川沿いから公園・広場を通り抜け、みなと交流センターに至る魅力的な散策コースに生まれ変わっています。

今後の海上部分を含めた緑地の整備イメージは、南側の老朽化した旧フェリー桟橋先端部を一部撤去、基部の杭や床版をリニューアルして市民に解放します。また、新たに浮桟橋を1基設置して、そこを水上ステージ・水上デッキとしてイベント時に活用する予定です。桟橋にはベンチ等を設置して、海上回廊のような散策可能な親水性の高い空間を創造します。平成22年夏より本格的に海上工事を始め、平成23年春の完成を目指します。

詳しくは、徳島県 運輸総局 運輸政策課へお問い合わせ下さい。(TEL 088-621-2584)



【小松島みなとオアシス】

緑地整備に付随して、地元では港の特性を活かした地域振興策の検討を行っています。

一例として、本年5月のビジターハーバーフェスティバルでは、地元の観光クルーズ船「エムズ・ハピネス」を利用した社会実験が行われました。乗船料500円で港内を約30分間周遊する観光クルーズです。天候にも恵まれ船は開閉式の天井を開けたまま港内を周遊、潮の香りと共に海から小松島港の景色を眺めることができ、乗船者には大変満足して頂いたようです。

みなとオアシスでは、イベントの開催、産直市の経営等に加え、プレジャーボートなど小型船舶を利用した海からの訪問客の誘致にも力を入れており、みなとの再生、活性化につながる持続的な活動を続けています。

今後も地域住民、NPO、国、県、市が一体となって、さらなる地域振興を目指して様々な取組を行っていく予定です。



↑ 観光クルーズ船 「エムズ・ハピネス」